

西海ブロック推進会議漁業資源・海洋環境部会報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

1 開催日時及び場所 日時 平成19年11月6日(火) 13:30~17:00
場所 西海区水産研究所 大会議室

2 出席者所属機関及び人数 9機関 28名

3 結果の概要

議 題	結果の概要
1. 開 会	西海区水産研究所東シナ海海洋環境部長が開会を宣言。
2. 挨 拶	東シナ海漁業資源部長から最近の情勢および部会開催の趣旨について説明。
3. 座長の選出	東シナ海海洋環境部長を座長に選出。
4. 協議事項	
1) 試験研究の実施 状況に関すること	各県および西海区水産研究所の研究課題を一覧表として提示するとともに、本年度開始課題、重点課題についてそれぞれ説明を行い意見を交換した。
2) 試験研究の成果 に関すること	<p>漁業資源分野の成果が4件、海洋環境分野の成果が1件提出され、議論を行った。その結果下記のとおりとなった。</p> <p>ア) コウイカの資源管理手法について(福岡県水産海洋技術センター)は図に微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>イ) 長崎県沿岸域におけるキビナゴの産卵期と初期成長(長崎県総合水産試験場)は微修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>ウ) 熊本県八代海における船びき網漁業の漁獲物に関する調査(熊本県水産研究センター)については修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>エ) 冬~春季の東シナ海南部海域におけるマアジ仔魚の生態学的研究(西海区水産研究所)については修正を加え研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとし</p>

<p>3) 試験研究のニーズと具体的な取り組みに関すること</p>	<p>た。</p> <p>オ) 底質環境からみた有明海北西部海域の品酸素水塊の発生機構（西海区水産研究所）については研究成果情報の候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。</p> <p>今年度における研究ニーズについては、佐賀県より「温暖化に伴う主要魚種の漁獲量の変化予測に関する研究」が提出され協議を行った。</p> <p>沖合域に関しては漁況・海況長期予報会議の中で特異現象を取りまとめており、予報会議の資料、議事録等を活用するとともに、水研センターの成果論文「温暖化による我が国水産生物の分布域の変化予測」が紹介され、活用することとした。本論文でカバーされていない底魚については東シナ海・黄海の魚類誌に掲載した分布水温の知見の活用を図り、一覧表等を作成することとした。また、プロジェクト研究、水産庁事業で行っている調査研究の成果については適宜還元することとした。</p> <p>また、沿岸域に関しては地域増養殖研究部会に設置予定の水温変動沿岸資源研究会に協力する形で対応することとした。</p>
<p>4) その他必要と認められる事項に関すること</p>	<p>特になし。</p>
<p>5. その他</p>	<p>特になし。</p>